

# とよかわ市民協働推進計画実施施策評価書

## 基本方針 1 市民活動に関する情報収集・提供

実施施策 1	紙媒体による情報提供の充実	委員会評価	4
委員会の意見			
<p>《進展したこと》</p> <ul style="list-style-type: none"><li>小学生向け町内会啓発冊子を活用し、市内17校で授業に活用できたことは良いこと。また、8小学校で出前講座を行い、直接町の方から話を聞く機会を増やし、子どもたちに町内会活動を知ってもらったことは、将来に希望が持てる。今後も継続を願う。</li><li>ボランティア適正シートを一度イベントで頂いたが、シンプルで取り組みやすかったように思う。</li><li>様々な紙媒体からの周知ができている。</li><li>ボランティア活動は市民の関心がある事業だと思う。情報がないとなかなか動けないので、紙媒体の情報提供は必要と感じる。</li><li>企業誌への掲載促進が少しでも進んだことは、評価できる。掲載する情報誌の種類が増えることで、新たな層に情報が伝わっていると感じる。</li><li>メセナ、スポーツとよかわは発行部数が多いので、今後とも有効活用を。</li></ul> <p>《残された課題》</p> <ul style="list-style-type: none"><li>今後も企業情報紙の積極的な活用を行い、協働への理解を深めるなど、紙媒体の情報提供の充実を目指してほしい。</li><li>定年退職者を対象としたボランティア意識の啓発強化については、定年退職者向けボランティア啓発冊子の作成が令和6年度に計画されており、良い成果につながることを期待している。</li><li>ボランティア・市民活動センターだよりの閲読率が低下している。</li><li>広報とよかわ、センターだよりの等々等は町内会に加入していないと配付されないため、情報不足になる懸念があるのではないかと。</li><li>全小学校で出前講座ができればよいが、協力いただける講師の確保は役員負担の軽減を考慮すると難しいところもある。また、地元組織の役員への依頼となると講義レベルに差異が出る。</li></ul>			

実施施策2	インターネットなどの効果的な活用	委員会評価	4
-------	------------------	-------	---

委員会の意見

《進展したこと》

- 広報リポーターの登録制度について、登録者が増え、原稿提出回数も増えている。また、市民活動の情報発信に役立つなど、成果をあげている。今度、更なる登録者数の増加と、さまざまな視点による記事の件数が増えることを期待したい。
- 市のホームページやFacebook はとても見やすいし、関心を持ちやすい。せっかくのPR 媒体なので多くの市民に観てもらい、豊川市を再認識する機会になることを望む。
- 「市民ボランティア情報提供システムの利用促進」において、情報発信件数、登録者数ともに伸びており、メール配信によるボランティア募集情報や、講座情報を提供できている。
- インターネット手続きによって参加に対するハードルが下がり、気軽に申込みができるようになった。
- 地元大学との調査、研究を実施。

《残された課題》

- SNS のアカウント周知がまだまだ必要である。例えば、若い人の出入りが多いお店などにチラシを貼らせてもらうなど、周知方法を検討していくことも必要。また、SNS の機能を生かした情報発信方法の模索を続けてほしい。
- Facebook は毎日のように更新され、見ごたえがある。フォロー数が少ないことは、せっかくの情報発信ツールなのにもったいないように思う。
- 市民ボランティア情報提供システムの利用促進について、そのようなシステムがあることを知らなかった。もっと、周知が必要では。また、登録者数も 54 人では少ないと思う。
- インターネット手続きは昨年度の件数 8 件から変動がないので、増やしていただきたいところであるが、ネット環境のない者との公平な申込受付の取り扱いが難しい講座等もあると思われる。先着順での受付をやめて抽選とすると主催者側の事務負担が増えることも考えられるため、導入手法について決まりごとが必要ではないかと思う。

基本方針2 人材育成と協働意識の醸成

実施施策1	担い手の育成と活用	委員会評価	4
-------	-----------	-------	---

委員会の意見

《進展したこと》

- コミュニティリーダー養成講座については、事例紹介をされていて成果があったと感じる。参加者の地域での活動につながることを期待したい。
- 関心が高い題材を扱うことによって参加者が増加したものが多かった。
- 各課、養成講座を開催し、組織のリーダー養成、育成をすることができている。また、各種講座を通して、市民活動の輪が少しずつ広がっていると感じる。
- 健康づくり推進員講座、学習会を通じて、市民の健康づくりの推進につながり、市民の健康への関心の高さを感じる。市民協働国際課と協働することで、より良いまちづくりができるといい。
- 若者を対象とした体験事業数が増えたことは、ボランティア活動のきっかけ作りとして、高く評価できる。
- 受講者数をもって一部事業の評価が下がっているが、事業の内容としては充実していると思う。

《残された課題》

- 興味のない者を無理やり参加させ、数字を上げるよりも、積極的に受講される方々が得たノウハウをいかに活用するかということが重要であると考え。活躍の場を用意するためにも人材バンクの設置は必要。今後期待したい。
- 年末年始に近い時期に開催している講座が多いと感じた。年末年始は多忙で参加できない方が多いイメージがあるため、もう少し時期をずらして参加者の増加を図ってみたい。また、介護・生活支援サポーター・子育てサポーター養成講座等の参加者が少ない点は少し心配。市民、誰もが関わる問題であるため、企業・町内とも問題を共有して、みんなで支えあえる、まちづくりを目指したい。
- フォローアップ講座の参加者が少なめと感じる。養成した受講者が活動に関心を持ち続けたり、参加できて、つながっていけるような働きかけが必要ではないか。
- 若者ボランティア体験講座の受講者数が寂しい。市内高校、東三河地域の大学などにもっと積極的に投げかけるべきだと思う。
- ボランティアを継続したいと思えるような企画も必要だと感じた。
- 災害ボランティアは今後、大きな地域防災活動の牽引役となると思う。まずは、体験してBCPの観点からも、「自分の身は自分で守る。自分の地域は自分たちで」という意識があるとよいと思う。ここで養われた知識が地域に戻ってくるような活動を望む。
- 福祉、介護の担い手講座は、まずは知ってもらい、身近な問題から始めないとなかなか参加者が集まらないと思う。

とよかわ市民協働推進計画実施施策評価書

実施施策2	協働意識の醸成	委員会評価	4
-------	---------	-------	---

委員会の意見

《進展したこと》

- 出前講座や啓発冊子の配布により協働の普及、啓発ができています。
- 企業向けボランティア出前講座の実施企業が増加している。引き続き、受け入れ企業の発掘に努めてほしい。
- 団体交流による活動紹介、意見交換、情報共有ができており、団体の垣根を超え、今後の活動の幅が広がるように思う。
- 各種研修会を通じて、確実に理解していただける人が増えていると思う。

《残された課題》

- 時が経つと冊子の効果もなくなってくると思われるので、機会あるごとに今後も協働の話を各事業で出すとよい。
- 市民協働推進員の活動内容がまだわかりにくい。
- 養成講座や出前講座の受講者数の減少。
- 市職員の研修や市民協働推進員を設置したことによって何が変わったのか聞きたい。
- 企業向けボランティア出前講座が充実すると、企業側も積極的にボランティアに参加できるのではないかと。企業としても地区の協力があってこそ経営していくと思っている。
- 講座、研修の開催など、意識を高める手法として行政が直接関与できる事業活動はしっかり実施していると思うが、実際に協働意識の醸成が進んだかどうかの検証が、頂いた資料では評価困難。
- 登録団体交流会参加団体数は目標30団体で実績は24団体ともう少しだが、3回の実績事業に同一団体が複数回参加することで数字が増えることは交流の活発化の面では望ましいが、組織間のマッチングの機会の方では数字が成果と直結しない。
- 登録団体数の増加が求められる。

基本方針3 市民活動団体の支援

実施施策1	活動拠点の充実	委員会評価	4
委員会の意見			
<p>《進展したこと》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• 活動拠点については、市内の公共施設の会館施設等使用料減免制度を設けたことで、場所の提供などができていると感じる。また、減免についてもサービスが高く、市民活動団体が活動しやすくなっている。</li> <li>• ボランティアセンターの利用者が増加したことは、各種事業の取り組みの成果だと思う。</li> <li>• 地区集会施設整備事業については、災害時には避難所になることもあると思うので、利用しやすい集会場が必要かと思う。</li> <li>• 特に昨年度から事業活動に変化が見当たらず、予定通りの事業進捗と見える。</li> </ul> <p>《残された課題》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• 商工観光課の空き店舗に関しては、登録も0件、紹介も0件、何を調査発掘なのか全く理解できない。協働につながる部分であり、また地域活性化につながる事業であるため、SNSを利用したり、人の出入りが多い所にチラシを貼るなどの情報発信対策に取り組むべきである。</li> <li>• 空き店舗情報の発信ができていない。周知方法やニーズの確認が必要ではないか。</li> <li>• 空き店舗の活用については、予算に余裕のないと思われるほとんどの活動団体には適用が困難だと思われる、事業説明の内容からも本事業とは別の目的の事業と感じる。施策としての位置づけを再考してみてはどうか。</li> <li>• 新たな活動拠点の調査・発掘が進歩できていないことは、検討・登録制度のあり方の調査が必要。</li> <li>• 自団体専用の部屋の提供の要望も聞くが、どこまで行政側が手当てするか、基準の設定は難しいところである。</li> </ul>			

とよかわ市民協働推進計画実施施策評価書

実施施策2	財政的支援などの充実	委員会評価	4
-------	------------	-------	---

委員会の意見

《進展したこと》

- 各種補助金、支援金も充実してきており、活動の推進につながっている。
- 町内会応援事業所の登録も増え、さらなる活用で、町内も企業も元気ができることを願う。また、財政的支援と組織間交流の拡大につながることを期待でき、今後の拡充も期待できる事業である。
- 市民協働推進事業補助金の事業数が増え、また、素晴らしい事業が多いため、今後も継続してほしい。確実に協働が進むことを期待する。
- 事業数の多さと携わっている課の多様さから、市民活動団体への支援が幅広く行われていると感じた。
- 現状の施策は活動資金の提供、運営経費の補填を目的としたものとしては十分である。
- クラウドファンディングの活用について、寄附者の共感を得られる方法で市民活動への参加を促進している。

《残された課題》

- 老人クラブ入会者を集めるのに、どの地域も苦慮していることから、補助金の充実を含め、事業の工夫も支援できると良いと感じる。また、周知方法等の検討をして、元気のいいまちづくりを担ってほしい。
- 空き家対策について、モデル事業の事例を増やし、充実を図って欲しいと思う。インターネットで申請手続きができるようになるなど、申請手続き等を改善することで利用しやすくなるのではないか。
- 新規事業のまちづくり活動への企業の協賛制度について、難しいかもしれないが、実施してほしい。
- NPO 法人に委託した、育児不安解消の受け皿となる子育て中の親が気軽に集いあえる場の提供は、一人になりがちな子育てを支える地域の力になると思う。
- 財政的支援に記載されている委託事業の中で、委託金額と作業内容が釣り合っておらず、ボランティア的な作業と化しているものもある。
- 自治会への作業委託は運営負担軽減の観点からも見直しが必要。
- クラウドファンディングの活用は、寄附者の共感を得られる素晴らしい事業で、今後も新たな取り組みに期待したいが、今回の実施事例は市民活動団体への財政支援に無関係と思う。
- 利用の少ない事業については周知方法の検討がいるのでは。

とよかわ市民協働推進計画実施施策評価書

実施施策3	人的支援の充実	委員会評価	4
-------	---------	-------	---

委員会の意見

《進展したこと》

- 各種養成は達成してきていると感じる。
- 様々な分野、団体において、会議や委員会などで意識啓発が進んでいると感じる。
- 養成講座を開催することで、参加者等の知識・技術の向上につながったと思う。今後も継続して取り組むことが大切。
- スキルアップ講座を開催し、市民活動団体へのスキルアップを図ることができている。また、講座内容が毎回異なり、すぐに実践に移せるものが多い。今後の市民活動継続と活性化につながるものとなっている。

《残された課題》

- 参加者が少ない講座については、今後も工夫が必要。講座に興味を持って頂けそうな方へ、確実に情報を届けることが、受講者増加につながると感じる。
- 組織体制の強化につながる人材を育成する機会を確保するために、各種講座の継続は重要である。参加者数が少ないからという理由での低評価、事業廃止はしないでほしい。人的支援と聞いてイメージするのは、各団体の活動を支えるご意見番の提供。町内会アドバイザー派遣事業は元年度未実施だが、2年度実施予定であるので、今後、人的支援策の核として期待する。
- 養成された人材が、活動に結びついているか、フォローが必要ではないか。
- 専門的な知識を持つアドバイザーなどの充実。
- いろいろな人との連携をとり、いろいろな意見が構築されることが必要。

基本方針4 市民協働推進の仕組みづくり

実施施策1	推進・連携体制の整備	委員会評価	4
委員会の意見			
<p>《進展したこと》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 審議会などへの登用や事業評価について、促進されていると感じる。</li> <li>・ 協働ガイドの周知については、順調にできていると感じる。</li> <li>・ 協働の啓発は推進されているので、今後も事例を増やしながら広げていけると良い。</li> <li>・ 町内会へのアプローチができてきているので、連携も推進している。</li> <li>・ 穂の国まちづくり塾講演会を協働で実施できたこと。</li> <li>・ 三上連区が企画した「ふれあいまつり」について、町内会や、市民活動団体、企業とのマッチングに取り組んだことは評価できる。事例ができたので、今後の広がり期待したい。</li> <li>・ 各種団体が市政に参加できる機会が多い。</li> <li>・ 行政主催の各審議会に委員として参加することは、社会的に認められるという意味もあり、団体の活動の励みになると思う。継続、拡大できればよいと思う。</li> <li>・ 市民協働推進員を各課に配置している。全庁で協働を推進する体制ができている。</li> </ul> <p>《残された課題》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 協働をすることが目的にならないよう、連携体制を整える必要がある。</li> <li>・ 三上ふれあいまつりのような、市民活動団体と町内会や企業がともに作り上げるイベントが増えるといいと感じた。</li> <li>・ マッチングについては、相談や提案が多くできる体制が必要になると思われる。</li> </ul>			



とよかわ市民協働推進計画実施施策評価書

実施施策2	協働事業の評価・公表	委員会評価	4
-------	------------	-------	---

委員会の意見

《進展したこと》

- 市民協働国際課は、順調に各課へのアプローチができていると感じる。
- 市ホームページでの各課協働事業の公表ができている。また、事業の公表をすることで、だれでも情報にアクセスできるようになり、市民と行政の距離を縮められた。
- 計画に基づいて実施した事業の評価、結果報告ができている。
- 市との協働事業の仲介が着実に増えていることは評価できる。

《残された課題》

- 地域づくりにつなげていく工夫が必要と感じる。
- 庁舎内の推進員の活躍があまり感じられないので、学ぶのみでなく、推進員の活動事例があがると良いと思うと同時に公表できると良い。
- 目標に向かって着実に進んでいると思うが、まだ、多くの市民に「協働事業」が理解されているとは感じない。自分も含め、継続して、周知・認知を広げていきたいと思う。
- 成果等は広く周知してほしいが、興味を持ってもらえる方を増やさないといけないので、全体的な活動の底上げを期待したい。
- 市民の情報として、読みやすく、簡素な評価結果の報告を望む。